

●2023 年度会計監査が承認され総会に提出

4月27日午前中に実施。監事の坂田一郎さんと森幾久子さんのお二人に現金出納帳と銀行預金通帳各種と手元現金を調べていただきました。特に問題点はなく終了できました。事務処理は完ぺきにできていますが、会組織として会計担当者（責任者）が欠如している不十分な体制の改善が指摘されました。

●第29回通常総会 37名の社員のうち、出席12名、委任状15名で成立

1 連休前のウィークデイの金曜日の開催だったので出席者が出てくれるのか大変心配しました。これまではウィークデイの設定はなく、今回が最初で、午後の開会も例がなかった気がします。委任状の数によって成立した総会ですが、このような中でも成立したのは確実に地力がついてきた大きな前進でした。気が気ではありませんでしたが確実に一つ階段を登れたものです。

2 活動報告は膨大なものでしたが丁寧に読み上げての説明があって、里山の会の取組を詳しく理解していただける機会になって、里山農園活動、木津川での魚とり活動、中聖牛竹蛇籠の活動などについて補強報告がされ、みんなで力を合わせて取り組んできたことがより理解していただけました。できるだけこの方式を取り入れるのが良いのではないのでしょうか。

3 会計の出納と記帳を担当していただいている小川さんが年度末に「コロナ」的な発症で事務所に出席できない困難の中で、ご主人の援助で決算書を作り上げていただいたことを報告し、不足のあることでもご理解いただき承認されました。また決算書類も会誌55号や週刊ニュースで公表することで了解が得られました。

4 活動方針は活動計画ではないかとの意見があり、前年度並みの方針、計画であること、そして新しいものとして若い女性から希望のあった身近な植物を観察する植物観察会を取り入れられたことと、交響プロジェクト交付金申請には異論があるので現在のところ予定には取り入れていないところだとの説明にしておきました。ここまで順調に原案通り可決成立しましたが、次の予算案議題で激しい論議となりました。「この場で、交響プロジェクト交付金申請には取り組まないと採決せよ」と強行意見が出され紛糾しました。理事会提案に対して最高決議機関の総会だから、理事からも採決し取り組まないと決定すべきと強調されました。議長もこの声に押されて収拾をつけられなくなりました。ここで会場の使用時間になり、ロビーでの延長に入って議論を継続しました。このままでは終われないので予算案の承認決定を確認して、理事候補名簿の提案に移り、今回立候補いただいた野村さんも含め、全員一致で11名の理事が選出されました。直ちに第一回理事会を開催し、互選により、光田重幸先生を理事長に決定しましたが、副理事長や常務理事、会計などの要職が未決定となってしまった総会でした。

5 京都府児童相談所田辺分室への口頭での申し入れにすぎませんが、これまでの里山農園の栽培農園の取組だけから、不登校や引きこもりの方が自然豊かなこの施設に来られてひと時を過ごし、心が開く

手助けの役割として利用活用されることを希望しているとのことを明確にできました。これらの中に里山農園の今後の発展方向があるのではないのでしょうか。

●大村理事長の在位の2年間はこれまでにない大きな前進でした

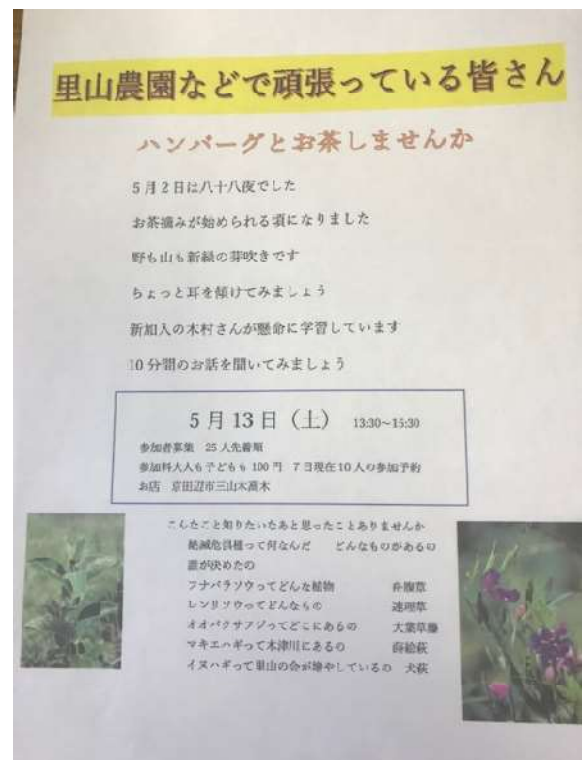
一級河川の本津川に誰もが不可能と思われた5群16基の中聖牛の設置は世界的な取組でした。また長年手の付けられなかった里山農園の丸山の平坦化、加えて白土山への周遊路実現は強力な同志社大学サッカー部ボランティアの協力があって実現したことです。そして京都大学、宇治川ラボラトリーに中聖牛のモデル建設等はどれをとってもすごい成果であります。加えてヤマトサンショウウオの調査管理保全、イタセンパラの復活を目指す取組はものすごい成果が期待できます。誰も予想もしていなかったフィランソロビー協会からの50万円寄付の実現を、2023年度も連続して実現したこと。数えれば長い活動の中でこれほど成果に結びついたのは稀でした。それに財政が健全に運営されて、事務機器や農業機械の使用期限切れの中で相当額の財政の余裕を生み出したことは、大きな宝物を手にしたことではないのでしょうか。そして篠原さんたち「カーちゃんズ」の仲間の活動が3年目に入り、ようやく自力活動に目が向きだし、その活動を通じて新入会員が増え始めてきたことは、新しい発展への扉を確実に開きつつあると思われます。この間の活動をまとめてきた機関誌「里山の自然」は54号を数えました。また戸別配布を繰り返してきた週刊ニュースが今年末に1000号に達します。困難を抱えながら粘り強く頑張ってきたのではないのでしょうか。これらの成果を積み上げられてきた最大の原動力は、毎週続けてきた事務局会議やパソコン教室にあるのではないのでしょうか。いま新理事長を我々は迎えることが。この誕生を力に心新たに「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」のスローガンを掲げ新しい出発をしましょう。困難は山積していますが着実に地道にコツコツと前を向き、胸を張って、頑張ってください。

●5月13日（土）13:30分から「ハンバーグダイニングたくみ」で研修会（勉強会）を開催します

写真の呼びかけを見てご参加いただけるようお願いいたします。話題提供として、木村敏和さんに絶滅危惧種についてのお話をお願いしており、今懸命に学習に取り組んでいただいています。木村様は先日ご入会を頂き、里山農園でこれまで見たことがないタコノアシを目にして、持ち前の好奇心が頭を持ち上げられ、絶滅危惧種について掘り下げよう、理解しようと頑張っておられます。

●石田裕子先生がこの春に教授にご栄進

昨年の秋の第24回里山講演会で講師をお願いしてお世話になり、また本津川でのイタセンパラの復活を目指す取り組みでは毎年大学生を引き連れて生息調査を行っていただいている、摂南大学の准教授であった石田裕子先生がこの春に教授にご栄進されましたことを皆様にお知らせいたします。心からおめでとうございます。



里山農園などで頑張っている皆さん

ハンバーグとお茶しませんか

5月2日は八十八歳でした
お茶飲みが始められる頃になりました
野も山も新緑の芽吹きです
ちよっと耳を傾けてみましょう
新加入の木村さんが懸命に学習しています
10分間のお話を聞いてみましょう

5月13日（土） 13:30~15:30

参加費募集 25人先着順
参加料大人も子どもも100円 アリ現在10人の参加予約
お店 京田辺市三山水源木

こんなこと知りたかったことありませんか
絶滅危惧種って何なんだ どんなものがあるの
誰が決めたの
フナバサソウってどんな植物 赤腹草
レンリソウってどんなもの 透明草
オオバクサアジってどこにあるの 大葉草
マキエハギって本津川にあるの 白蛇草
イヌハギって里山の命が絶やしているの 大萩